

やまきたまち 議会 だより

議会のおと

P 2～4…30年度予算決まる
「教育環境の向上へ」

P 6…議員発議
議員報酬等の減額に関する条例



水戸黄門を熱演する 岸・夢一座のみなさん

向上へ



平成30年第1回定例会を3月2日から15日まで開催した。

主な議題は、平成30年度一般会計・特別会計予算、条例制定・改正・廃止、平成29年度補正予算、人事案件など47案件を審議した。予算審議は、議長を除く13名の議員による予算特別委員会を設置し、2日間にわたり白熱した質疑が出され、全て原案どおり可決した。

一般質問は9人の議員が登壇した。

(一般質問は9ページから18ページに掲載)

教育振興事業

教育専任指導員など

2,302万円

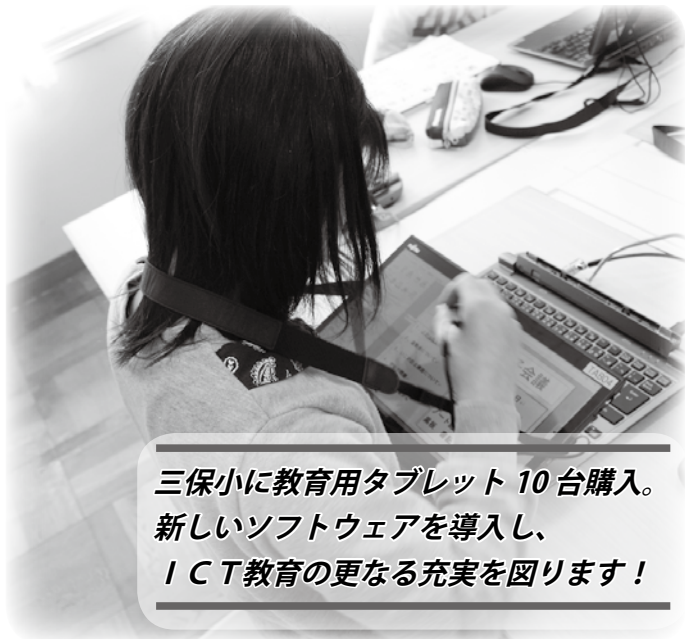


新しく専任指導員を配置。
教育指導の充実を図ります！

小学校教育用ソフトウェア

三保小タブレット導入など

896万円



三保小に教育用タブレット10台購入。
新しいソフトウェアを導入し、
ICT教育の更なる充実を図ります！

平成 30 年度 予算可決

教育環境の

一般会計 47 億 6,300 万円

一般会計予算は、ふるさと応援寄付金などにより、前年比 3.6% の増額となりました。しかし、基幹財源である町税が、生産年齢人口の減少などにより減収見込みであり、非常に厳しい財政状況にあります。新年度予算は、定住対策・教育振興に重点をおいた編成が伺えます。

学校施設維持管理事業

- ・ 川村小プール塗装
- ・ 小学校普通教室エアコン設置
など

24,138 万円

川村小に 8 台、三保小に 7 台
今年度、全ての普通教室への
エアコン設置が完了します！

老朽化したプールの内壁塗装
きれいなプールに蘇ります！

30 年度 その他の 注目 事業

- ◆ 防災行政無線デジタル化整備工事など・・・・・・・・・・43,489 千円
- ◆ 農業次世代人材投資事業補助金など・・・・・・・・・・10,741 千円
- ◆ 行政ホームページリニューアルなど・・・・・・・・・・3,244 千円
- ◆ 二世帯同居近居奨励金など・・・・・・・・・・4,563 千円
- ◆ 3 歳児視聴覚検診業務委託など・・・・・・・・・・4,925 千円
- ◆ 図書室アドバイザーの設置など・・・・・・・・・・1,323 千円

予算特別 委員会

審査報告

予算 一般会計

次世代就農者に
新規補助金導入

止まらない

町民税の減収

瀬戸(恵)委員 町民税の減収要因は。

町民税務課長 個人町民税は、生産年齢人口が248人減、全体総所得金額2億6000万円減、納税義務者が60人の減少によるもの。

法人町民税は、医療関連機器の製造業が連結決算をしており、グループ内の関連企業が不調とのことから減収となった。

小栗委員 農業次世代人材投資事業補助金とは何か。

農林課長 45歳未満の新規就農者から計画書の提出を受け、町長が認定すれば最長5年、年間最大150万円の補助が受けられるというもの。

ふるさと応援寄付金の見直しは

小栗委員 ふるさと応援寄付金で得た収入を観光振興や基盤整備に充てる考えは。

町長 寄付金の使い道は、少子化対策や観光対策など、町民にとって一番理解が得られるものに活用していきたい。

定住対策へ
新たな取り組み

熊澤委員 二世代同居近居奨励金とは。

定住対策課長 50歳未満の若年世帯で新築住宅を取得した者のうち、親世帯と同居または近居の世帯に対し、10万円を交付するもの。近居の範囲は親世帯が山北町内在住としている。

ホームページや

SNSの活用を

藤原委員 行政ホームページ推進事業の進め方は。

企画政策課長 動画などを多く取り入れ、見やすいホームページのデザインに変更していく。また、SNSについては、ツイッターに続き、フェイスブックやインスタグラムも開設していきたい。

3歳児視聴覚検診

熊澤委員 3歳児視聴覚検診業務委託料とは。

保険健康課長 3歳児検診の視覚、聴覚検査は、一次二次スクリーニングを経て精密検査につなげるもので、精度の高い専門の事業者に委託する。

図書室アドバイザー
が巡回指導

瀬戸(恵)委員 図書室アドバイザーの役割は。

教育長 司書の資格を持つ方をアドバイザーとして採用し、各園・各校と連携を図りながら、子どもの読書活動の推進を図っていく。

以上、平成30年度一般会計の予算審査の結果、全員賛成で原案通り可決すべきものと決した。

予算 特別会計

国民健康保険事業、
都道府県化へ

国民健康保険制度は、平成30年度より都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村は引き続き窓口業務を担当していくことになる。

石田委員 都道府県化になることで、山北町の国保財政はどう変わるのか。

保険健康課長 過去3年間の医療費に基づき納付金が算定され、県に納めることになるので、財政的には引き続き厳しい状況が続く。状況に応じて、保険税の見直しも検討していくことになる。

今後、リーフレットを作成し、国民健康保険事業について町民に周知していく。以上、平成30年度特別会計の予算審査のうち、山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算は賛成多数、その他の特別会計予算は全員賛成で原案通り可決すべきものと決した。



条例 条例制定

○**山北町指定居宅介護支援及び基準該当居宅介護支援に関する条例の制定**

指定権者が県から町に変わるため制定するもの。
＊本会議で福祉教育常任委員会に付託した。
(審査報告は6ページに掲載)

補正 補正予算

○**一般会計**

歳入歳出それぞれ2379万8千円を増額。
主な歳入は、町民税(法人、法人税割で)3000万円減額。ふるさと応援寄付金1億円の増額など。

主な歳出は、ふるさと応援寄付金推進事業4124万円、公共施設整備基金積立金(山北体育館解体費等)3000万円。

教育費

石田議員 放課後子ども教室謝礼金の減が、安全管理委員の減と説明されたが、減の原因と子どももの安全管理は大丈夫か。
生涯学習課長 川村小学校放課後子ども教室のスタッフは、当初10名を予定していたが、8名で大丈夫というところで減らし、2名分が減額となった。

諸収入

児玉議員 丹沢湖砂利売り払い代金で、3万㎡の見込みが720㎡であつたがその理由は。

また、30年度予算も3万㎡見込んでいる。予算認識が甘いと思うがどうか。

都市整備課長 ヘドロが堆積した状況と、渇水時期があり、売れる砂利が取れない時期があつた。3万㎡が目標ではなく、3万㎡取れるという考え方で進んでいる。業者と調整した中で通常ペースでは取れるが、天候次第で変化することを理解してほしい。

○特別会計

町設置型浄化槽事業

小栗議員 この事業の補助金が永久に確保できれば良いが、ある程度見込んだ中で完成年度を目標ととらえおこなう考えは。
上下水道課長 県は補助金について、現在、具体的な情報を出していないが、町は水源の水質保全の点から続けていきたい。

人事 人事

山北町副町長の選任

任期満了のため、選任提案がされ、全員賛成で同意し再任された。
任期は平成30年4月から4年間。

山北町副町長
山崎 佐俊 氏

山北町固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了のため、選任提案がされ、全員賛成で同意し再任された。
任期は平成30年4月から3年間。

山北町固定資産評価審査委員会委員
武尾 昌則 氏

山北町教育委員会委員の任命

瀬戸安美氏の任期満了に伴い、任命提案がされ、全員賛成で同意した。
任期は平成30年4月から4年間。

山北町教育委員会委員
今村 敏雄 氏

山北町農業委員会委員の選任

山北町農業委員会委員等候補者選考委員会の答申に基づき、選任提案がされ、全員賛成で同意した。
任期は平成30年5月から3年間。

山北町農業委員会委員

磯崎 加代子 氏
三尋木 重夫 氏
細谷 晋之 氏
高杉 光男 氏
二宮 重美 氏
杉山 照枝 氏

議決 議決

議員報酬減額に関する条例制定

○山北町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定。

本条例を制定する必要があるため提案、全員賛成で可決。
(詳細は6ページに掲載)

臨時 第1回臨時会

(2月14日開催)

条例改正、補正予算共に、人事院勧告に基づき職員給与の改定。



議員報酬減額に関する条例制定

議員報酬の減額とは

議員が会議を欠席した場合の議員報酬手当について

長期欠席期間	減額の場合
90 日を超え 180 日以下	100 分の 20
180 日を超え 365 日以下	100 分の 30
365 日を超える時	100 分の 50

議会の会議とは

- ① 定例会及び臨時会
- ② 常任委員会
- ③ 全員協議会
- ④ 広報広聴委員会・議会報告会等

議員が疾病等の事由により、議会の会議を長期間欠席した場合の議員報酬及び期末手当の支給について条例で決めました。

今回の条例制定は、山北町議会が議員の職責を全うし、議会への住民の信頼確保を図る観点から、報酬に関して減額に関する条例を新たに設けたものです。

山北町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定



管理者が兼務可能な事業所
バーデンライフ山北

保険健康課長 グループホームとデイサービスを、同一敷地内で行っている事業所は、兼務ができるということである。

瀬戸(顯)委員 管理者は、「同一の敷地内にある他の事業所の職務に従事する場合」は兼務可能と規定されている。どのような場合か。

山北町指定居宅介護支援及び基幹該当居宅介護支援に関する条例(議案第7号)

福祉教育常任委員会で新規条例審査

高齢者サービス向上に向け
町の権限・保険者機能強化

条例

瀬戸(顯)委員 今回の介護保険法改正で「地域包括ケアの深化」が言われている。本条例に、この流れは盛り込まれているのか。

保険健康課長 「地域包括ケアの深化」は、町で取り組んでいかなければならない。身近なことを、県ではなく町の権限で定めることが、必要になってくる

石田委員 指定権者が県から町に変わり、利用者の苦情について、事業所で処理できない場合、町の対応は。

保険健康課長 介護保険に関する苦情は、以前から町が対応している。苦情を事業者に電話確認したり、場合により職員が事業所等を訪問したりしている。

鈴木委員 事業所への実地指導を、町が行っていくとなると負担は増すのではないか。

保険健康課長 県が行う実地指導の際に、職員が同行しノウハウを学び準備してきた。負担は増すが対応は可能である。

今後は介護担当職員2名と地域包括支援センターの主任介護支援専門員で実地指導を行っていく予定である。

全員賛成で了承された。

論 討 平成30年度 一般会計当初予算

賛成

小栗直治 議員

賛成

石田照子 議員

平成30年度当初予算に賛成します。歳入全体では、国庫事業・県費事業を取入れ、ふるさと応援寄付金の導入を積極的に図っています。歳出についても多岐にわたり、事業を十分検討され、「みんなで作る魅力あふれる元気な町づくり」予算になっている事を認めます。

特に、定住対策事業で、向原の基盤整備・空き家活用事業。農林事業で鳥獣被害防止事業、さらに防災対策として防災無線のデジタル化など、重点施策として計上しています。これらは山北町の人口減に、歯止めをかける予算であるとして高く評価し、平成30年度、山北町一般会計予算は、原案どおり賛成の立場で賛成討論とします。

賛成の立場で討論します。本年も町税が減収見込みで、大変厳しい状況の中、歳出抑制を図り、財源配分の工夫により、元気なまちの将来像を実現すべく予算編成となりました。

新規事業の農業次世代人材投資事業・二世帯同居近居奨励金、教育強化事業としての、タブレット導入による学習強化、全学校へのエアコン設置完了、図書館司書配置の実現等新事業が盛り込まれました。厳しい財源の中、まちの将来を担う子どもたちへの教育環境強化、若者を呼び込むための事業実施等、人口減少に苦しむ町にとって明るく、希望の持てる予算編成になったことを評価し、平成30年度当初予算に賛成します。

論 討 平成30年度 山北町町設置型浄化槽事業予算

反対

小栗直治 議員

「平成30年度山北町町設置型浄化槽事業」予算について、将来の町財政負担を心配し反対します。

下水道敷設計画がない水源地域に、合併浄化槽を導入し、きれいな水を河川に放流する考えは賛成するが、次の事柄について理解が出来ません。

① 町所有の浄化槽設備を、個々の敷地内に期限なく設置し、町が維持管理する事。

② 下水道地域と同じように、使用料を支払えば、浄化槽点検、くみとり清掃費用が、すべて町負担で管理される事。

③ 初期に設置された浄化槽は、ポンプやベルトなどの交換時期にきている。これらの交換、修理をすべて町経費で実施する事。

④ 丹沢湖上流だけの水質を守っても、丹沢湖下流は一般河川が合流している。下水道本管敷設が、未設置区間は、河川放流され河川の水質保全にならない事。

⑤ 浄化槽管理は、丹沢湖上流は町管理、下流は町民個人管理である。目的は一緒なのに、これで良いのでしょうか。以上の点から、下水道計画を見直し、町の整備方針を策定し町民に早期に示すべきだと思います。

本事業は、県の水源税等の補助がある期間は良いとしても、個人宅に設置し5年・10年経過したら、設備を個人に無償で払い下げ等をして、管理して頂くようすべきだと思います。

これらの理由で町設置型浄化槽特別会計予算は反対の立場で討論します。

賛成

瀬戸恵津子 議員

賛成の立場で討論します。

これまでも水源地の環境保全・再生市町村補助金を活用し、三保ダム集水域において、高度処理型の町設置型合併浄化槽の整備を進めてきました。国県の動向を注視し、引き続き水源の維持管理の推進を果たしていくために積み上げられた予算だと確信します。



議案等審議の結果

第 1 回臨時会（2月14日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	2月14日	可 決 (賛成全員)	平成29年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	2月14日	可 決 (賛成全員)
平成29年度山北町一般会計補正予算（第 7 号）	2月14日	可 決 (賛成全員)	平成29年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	2月14日	可 決 (賛成全員)
平成29年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	2月14日	可 決 (賛成全員)	平成29年度山北町水道事業会計補正予算（第 2 号）	2月14日	可 決 (賛成全員)

第 1 回定例会（3月2日～15日）

件 名	月 日	審議結果	件 名	月 日	審議結果
山北町指定居宅介護支援及び基準該当居宅介護支援に関する条例の制定について	3月15日	可 決 (賛成全員)	平成29年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第 5 号）	3月7日	可 決 (賛成全員)
山北町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成29年度山北町水道事業会計補正予算（第 3 号）	3月7日	可 決 (賛成全員)
山北町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町一般会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町国民健康保険事業特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町後期高齢者医療特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町災害給付見舞事業特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町下水道事業特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成多数)
山北町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町山北財産区特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成多数)	平成30年度山北町共和財産区特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町地域密着型介護予防サービスに関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町三保財産区特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町指定介護予防支援及び基準該当介護予防支援に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町介護保険事業特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町地域包括支援センターの職員等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町商品券特別会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町立多目的集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町水道事業会計予算	3月15日	可 決 (賛成全員)
山北町道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	指定管理者（非公募施設）の指定について	3月7日	可 決 (賛成全員)
山北町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	山北町副町長の選任について	3月15日	同 意 (賛成全員)
山北体育館の設置及び運営に関する条例を廃止する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	山北町固定資産評価審査委員会委員の選任について	3月15日	同 意 (賛成全員)
山北町教職員住宅使用条例を廃止する条例の制定について	3月7日	可 決 (賛成全員)	山北町教育委員会委員の任命について	3月15日	同 意 (賛成全員)
山北町農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とする事について	3月7日	同 意 (賛成全員)	山北町有施設使用条例の一部を改正する条例の制定について	3月15日	可 決 (賛成全員)
平成29年度山北町一般会計補正予算（第 8 号）	3月7日	可 決 (賛成全員)	山北町地域密着型サービスに関する条例の一部を改正する条例の制定について	3月15日	可 決 (賛成全員)
平成29年度山北町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号）	3月7日	可 決 (賛成全員)	山北町農業委員会委員の選任について	3月15日	同 意 (賛成全員)
平成29年度山北町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	3月7日	可 決 (賛成全員)	山北町議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について	3月15日	可 決 (賛成全員)
平成29年度山北町下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）	3月7日	可 決 (賛成全員)	南足柄市山北町開成町一部事務組合議会議員の選挙について	3月15日	指名推選
平成29年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計補正予算（第 2 号）	3月7日	可 決 (賛成全員)	平成30年度山北町土地開発公社事業計画及び予算について	3月15日	報告のみ

☆賛成・反対があった議案（第 1 回定例会）

議 案	議員名（議席順）	熊澤友子	藤原浩	井上正文	児玉洋一	原憲司	石田照子	瀬戸顯弘	瀬戸恵津子	鈴木登志子	小栗直治	川村俊治	渡辺良孝	庄野京子
山北町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
平成30年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算		○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※○は賛成、●は反対を表しています。府川輝夫議長は、採決に加わりません。

ズバツと問う！

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、提案や意見を述べ、時には是正を求め、新たな施策方針等を問うものです。

原稿は、質問議員が作成しています。

ページ	質 問 事 項	質 問 議 員
10	山北町障害者計画・山北町障害福祉計画策定について	小 栗 直 治
11	自然環境を活かした地域づくりと地域の活性化を	原 憲 司
12	1. (仮) 山北スマートIC周辺活性化計画の策定は 2. (仮) 小田原・甲府線計画の再構築を	渡 辺 良 孝
13	選挙に関していくつかの見直しを求める	庄 野 京 子
14	子育て支援・教育環境の更なる充実を	児 玉 洋 一
15	町長の2期8年の政治姿勢と今後を問う	鈴 木 登志子
16	鳥獣被害対策	瀬 戸 恵津子
17	事業の維持・継続が出来るよう儲かるしくみづくりを	藤 原 浩
18	山北町の鳥獣被害対策について問う	井 上 正 文

問 山北町障害者計画・障害福祉計画策定について



小栗直治 議員

答 障がい者の意見を聴き策定する

二〇二〇年は、東京パラリンピックが開催される。これを引きかけに障がいのある人の在り方や、健常者と共に生きる社会の実現にむけてみんなで考える機会でもある。

そこで『山北町障害者計画』・『山北町障害福祉計画』の次期計画策定プログラムについて質問する。

問 第二次障害者計画や第四期障害福祉計画の最終年度には、全体の施策点検、評価、課題処理はどのように行ったのか伺う。

答 町では『障害福祉ネットワーク運営委員会』において、毎年度進捗状況や事業の評価を行いホームページで公開している。



見直しされる計画書

問 町の第五次総合計画が進行する中、障害者基本法に基づき、『第三次山北町障害者計画』、障害者自立支援法に基づいた『第五期山北町障害福祉計画』の策定手順で障がい者個々の声や、関係する団体等からの要望などをどのように計画に反映されたのか伺う。

答 町内在住の障害者手帳を持つている方に、アンケート調査と障がいのある児童の保護者を対象にヒアリング調査をして、計画に反映した。

問 障がい者個人に、数多くの支援サービスがあるが、なかなか理解できない。行政窓口や、社会福祉協議会、民生児童委員などの、組織を使って周知されているのは理解しているが、個人情報等の制約があり周知の難しい面もあると聞いている。

答 町では、障がいのある方が相談しやすい環境づくりに努めており、足柄上地域では、広域での相談支援事業や出張相談、訪問相談を実施している。

また、障がい者同士による情報の共有や仲間づくりは、大変重要であるので、新たに団体が立ち上がる際には、町は積極的に支援を行っていく。

町は、福祉サービスの案内、支援制度を広く周知していく。



手すり設置サービス



就労を支援する「やまなみ工芸」

問 自然環境を活かした地域づくりと活性化を

答 地域活性化の取り組みを進める



原 憲司 議員

当町の人口は、昨年の1月より260人減少している。子どもたちが減少し、高齢者が増え、少子高齢化が進んでいるので、町の自然環境を活用した地域づくりと活性化について質問する。

問 三保地区のユーシン渓谷や秦野峠林道を活用し、多くの観光客を招き、地域づくりと活性化を図ってはどうか。

答 ユーシン林道は、今年1月の大規模な崩壊で、通行止めになっているため、早期の復旧を県知事に要望した。秦野峠林道は、イベント等の交通渋滞時の迂回路として、県に要望している。

問 清水地区の山砂利採取跡地を活用し、地域づくりと活性化に取り組んではどうか。

答 Aブロックの土地利用を地権者や関係者が検討している。地権者、採取事業者、町で構成するAブロック三者会議を開催し、検討している。

問 共和地区の大野山の自然環境を宣伝し、多くの観光客を招き、地域づくりと活性化を進めてはどうか。

答 大野山山頂は足柄平野や富士山が全貌できるので、町のホームページ等で宣伝し、地域の活性化に取り組む。



大野山山頂からの景観

問 山北地区の河村城址公園周辺の整備を図り、多くの観光客を招き、地域づくりと活性化を図ってはどうか。

答 河村城址歴史公園は、平成30度に展望あずまの整備をする。町のホームページ等で宣伝し、大勢の観光客を招き、山北駅周辺の活性化に繋げる。



河村城址公園内の景観

問 高松山の絶景を宣伝し、ハイキングコースの整備を行い、多くの観光客を招き、地域づくりと活性化を図ってはどうか。

答 高松山の眺望が素晴らしいので、ハイキングコースの整備を行い、町のホームページ等で宣伝し、地域の活性化に取り組んでいく。

問 岸地区の丸山住宅用地の分譲を早期に行い、地域づくりと活性化を進めてはどうか。

答 丸山戸建住宅用地は、宅建業者に分譲販売の検討を依頼している。早期に分譲し、地域の活性化に取り組んでいく。



丸山地区の住宅分譲地

問 (仮)山北スマートIC周辺活性化計画の策定は



渡辺良孝 議員

答 地元清水地域と連携を図り取り組んでいく



中日本高速道路株式会社提供

(仮称) 河内川橋 (L=771m)

(仮)山北スマートICの予定地は、町の東西のほぼ真ん中になる。丹沢湖はもとより、箱根へ繋がる「南箱道路」の工事も始まり、他方面へのアクセスが期待されることから質問をする。

問 当初の町が負担すべき工事費約5億円が、2億7800万円で決定した。今後の方向性はどうか。

答 中日本高速道路(株)、更に県に協力をいただき工事費が安くなった。今後、活性化計画に繋げていく考えである。

問 新東名高速道路の工事も本格化し、予定しているスマートIC周辺活性化計画の策定は喫緊の課題と思うがどうか。

答 現在、周辺のパンフレット、富士山と一体の鳥瞰図(ちようかんず)、更にサイン計画等の策定など、活性化計画に向けた取り組みを進めている。

問 スマートICを活かした企業等の誘致には、周辺の土地利用計画など、地元町のやる気をいかにアピールするかに掛っているのではないか。



(仮) 山北スマートICの入り口となる「清水やまなみ橋」

答 (仮称) 河内川橋については、施工会社の事務所に、4月からバーチャル映像で見られる設備を設置すると聞いている。そのことも含め、広報を積極的に行っていく。

(仮)小田原・甲府線計画の再構築は

問 町が将来を見据えて進める「県境を越えた広域幹線道路の整備推進」として、スマートICを受ける軸に、(仮)小田原・甲府線をしっかり位置づけておくべきと思うが。

答 現状は厳しい状況だが、スマートICの設置が決まったことなどから、道志村はもちろん、神奈川・山梨両県の関係する周辺自治体と連携し、国、県等に要望するなど、長期的な視点で進める。

問 河内川に架かる「鋼・コンクリート複合バランスドアーチ橋」は、この工法では日本一と言われている。面白い話題として、早い内に町民に紹介すべきと思うが。

答 今後、中日本高速道路(株)と連携のもとに、本線工事の進捗状況を注視し、地元清水地域とも連携を図り、周辺活性化計画に取り組んでいく。

問 選挙に関していくつかの見直しを求める



庄野京子 議員

答 移動期日前投票車の導入は難しい

昨年の総選挙、山北町の投票率は65・81%、有権者は9392人。

来年は町議会議員選挙、参議院選挙が予定されている。

これらの選挙に向けて投票しやすい環境整備が求められる。そこで伺う。

問 投票率は県内ではいい方だが長期的な低下傾向の要因をどのように分析されているか。

答 町議会選挙については、平成23年は80%を若干下回ったものの、他はいずれも80%を越え、高い投票率を維持している。本町の投票率は必ずしも下降しているとは言えず、ほぼ横ばいである。

問 高齢の夫婦だけ、あるいは一人暮らしの高齢者のみなさんにとっては、本庁舎まで足を運んで投票するのは大変。

投票日と同じ場所で期日前投票が出来るよう、箱根町が昨年からは始めた移動期日前投票車に取り組む考えは。

答 他市町村に比べ投票所の数も多くなり、現在は14か所。移動期日前投票車を導入し、期日前投票所を複数設けるためには、二重投票の防止など新たな業務も発生するため、選挙事務の正確を期する対策も必要である。

さらに、不測の事態が生じた場合速やかに対応出来る職員の配置が必要となり、現在の人員では難しい。



期日前投票に訪れる住民

問 公営掲示板の認識と改善の手立ては。

答 ポスター掲示板は、公職選挙法施行令において投票区ごとに人口密度、地勢、交通等の事情を総合的に考慮して公衆の見やすい場所に設置すると定められており、現地の状況や有権者の声を聞き、町選挙管理委員会が判断するもの。

問 みずから投票に行けない人に郵便等による不在者投票の周知は。

答 この制度は障がい一級、二級及び要介護5の人が対象で、みずから投票に行けない人に配慮した制度。これを知らない方も多いかと思うので町のホームページや広報紙等において周知を図っていくことも必要である。

問 より多くの若い世代が投票に参加するための手立ての検討を。

答 町では選挙権年齢引き下げに合わせ、広報紙に特集記事を掲載するとともに、18・19才の有権者全員にハガキを送り、若い世代に対する選挙啓発を行った。

問 子育て支援・教育環境の更なる充実を



児玉洋一 議員

答 安心して子育てができる環境づくりに努める

これからの山北町を支えていくのは将来を担う若い力であるが、実際に子育て・若者世代の人口減少は止まらない。

「山北町ならこんな子育て・教育ができる」など、子育て支援・教育環境の充実に向けた新たな施策が必要と思い、次の点について伺う。

問 子育て支援課の設立など、子どもに関わる総合的な支援体制として、相談窓口を一本化する考えは。

答 行政サービスのありべき姿として、相談窓口の一本化は必要であると考えるが、現時点では制度上の問題や担当する業務の負荷等を考えると難しい。今後、他の自治体の良い点や問題点を踏まえながら調査研究していく。

問 やまきたこども園の検証と他の幼稚園・保育園のこども園化に向けた考えは。

答 こども園となった当初は想定外のこともいくつかあったが、意見箱を設置したり、教諭と保護者の話す機会を増やすなど、園児たちが楽しく健やかに過ごせる環境づくりを心掛けていく。

具体的検証や、他の幼稚園・保育園のこども園化については、山北町子ども・子育て会議を中心に、慎重に議論していく。



開園から1年を迎えた「やまきたこども園」元気で遊ぶ子どもたちが増えていく取組みを

問 電子母子手帳（専用アプリ）などの導入や放課後子ども教室の拡充など、新たな子育て支援施策の考えは。

答 電子母子手帳アプリは、平成29年4月から運用を開始している。今後も、パンフレットを配布するなど、広報に努めていく。放課後子ども教室は、夏休みの長期休業期間に実施できるように整備を進める。



電子母子手帳（母子モ）は、子供の成長記録や子育て情報の通知機能などが共有できる便利なアプリケーション

今後、利用日・利用時間の拡大も状況に応じ検討していく。

問 この先、三保小学校の全校児童数は10人に満たない年も訪れる。地域の特色を活かした学校教育は。また、再度小学校統廃合の考えはあるか。

答 三保小学校は、「地域が学校」という考えのもと、地域とのつながりを大切にした体験や活動を行っている。

統廃合については、平成27年に実施後、間もないため現時点では考えていないが、今後、地域が一つになり、総意等をふまえた中で再検討する場合もある。



今年度、三保小学校の全校児童は16人。今後のあるべき小学校とは？地域と共に小規模校を考えなくてはならない。

問 町長の2期8年の政治姿勢と今後を問う

答 引き続き山積する課題に取り組んでいく



鈴木登志子 議員



子どもの声でにぎわう若者向け町営住宅

「元氣な山北町をつくり出す」を掲げ、町長に就任されて2期8年の任期満了を今年7月に迎える。

就任以来、向原バイパスの開通、丸山開発に（株）トヤマの誘致、原耕地地区に商業施設のオープン、教育特区を受けての通信高校の開校など成果は着々と実っている。

しかしながら高齢化が急速に進み、医療や介護などの負担は増加する一方、若者の減少と流出には歯止めがきかず、人口減少による減収などが山北町の現状と捉え、以下の質問をする。

問 3期目に取り組む考えはあるのか。

答 平成22年7月に町長に就任し、「元氣な山北のまちづくり」に取り組むと表明した。

本町が直面している喫緊の課題を解決するために、全力で取り組みこれまでに多くの成果をあげることができた。

築き上げてきた成果を未来につなげ「元氣な山北のまちづくり」をさらに加速させるべく、引き続き山積する課題に積極的に取り組んでいかなければならないと感じている。

平成30年度に策定する「山北町第5次総合計画後期基本計画」の実現に向け、町のさらなる発展のため全力を傾注してまいりたいと決意を新たにしている。



眠りから覚めたD52



マスコットキャラクター「どこにい」

問 3期目に取り組んでいく課題は。

答 町有地の活用として、都夫良野地区の「簡保の宿・建設用地跡地」と高松山用地及び、「酒水の滝」の遊歩道整備などである。

問 鳥獣被害対策



瀬戸恵津子 議員

答 ジビエへの活用は採算性から難しい

鳥獣被害は、人口減少や耕作者の高齢化により放任農園が増える事が、一つの要因になっている。県は、平成29年度より「かながわ鳥獣被害対策支援センター」を設置し、鳥獣被害対策を進めている。積極的に活用し、対策をとるべきと考え質問をする。

問 イノシシ・シカ等の侵入を防止する防護柵設置の状況は。

答 柵は、町内18か所を対象に県や町により整備されている。嵐地区は26年度から継続して整備している。

問 1頭につき30000円の捕獲奨励金の見直しはあるか。

答 この制度は町独自の制度で、これにより28年度は1000頭を超え、29年度はさらに強化するため、国の鳥獣被害防止対策事業も活用している。

30年度も同様で見直しはない。

問 10月に長野県に視察したが、埋めるか、焼却しかないシカ等の処分方法を変え、できるだけ活用し※ジビエやペットフードにしたりして、山を汚さないという方向性だが当町の考えは。

答 ペットフードの処理加工施設や食肉加工施設は、採算性や継続性を考えると、活用するためのハードルが高いと考えている。



城山地区の野菜畑にシカが侵入

問 県によるジビエカーの導入計画は、頓挫したがどう感じたか。

答 予定されていた事業者が採算性や、ジビエに活用できる個体の確保が難しい事等から辞退したものの。町はジビエとしての活用と、鳥獣被害とは分けて考えている。

問 県はジビエの活用については、新たな取り組みを考えたと言っている。国県へは鳥獣害に困っていることを訴えていくべきだ。

答 県も参画している協議会で、イノシシ、シカ、サルを何とかしてほしいと、言い続けている。



鳥獣害対策をしている岸地区での野菜作り

問 ふるさと納税の寄付金を使い、処理加工施設を設置できないか。

答 初期投資としては考えられるが、継続的に赤字の補填に使うことは考えていない。

※ジビエとは、狩猟で得た野生鳥獣の食肉を意味する言葉（フランス語）

問 事業の維持・継続が出来るよう儲かるしくみづくりを

答 今後、協議を重ね検討を続けていく



藤原 浩 議員

町では、多くの観光に資する事業が行われている。事業の維持継続のため、「儲かるしくみづくり」に留意して、事業に取組むべきと考え、以下の質問をする。

問

丹沢湖ハーフマラソン大会の継続のため、インスタ映える景色や特産品、地元住民との交流ができる施設等を更に充実させて、参加者・地元の双方にとってメリットが大きなくみづくりをすべきでは。

答

インスタ映える景色や、特産品を味わう施設の更なる充実については、交通規制等で難しい面もあるが、協議を重ね検討する。

問

参加者意見で、「帰りの渋滞」が問題とされている。JR等へ接続するバスを、招待ラナーと行くツアーにしておくか。また大会終了後、地域を楽しむツアー等を行い、帰りの時間をずらし、渋滞緩和につなげる。産品の販売促進にもなり、双方のメリットは大きいと考えるがどうか。

答

ツアーバスを用意する件については、前大会から検討を始めており、利用者数など考慮した結果、次回への検討事項とした。渋滞緩和に向けた取組みは重要事項であるので、今後も検討を重ねていく。

町の自然、歴史・文化財を観光資源として活用できよう見直しを

問

小学校の副読本として編集した町の歴史に関する冊子を元に、内容を更に充実させ資料化し、デジタル化して一般の方が扱いやすくなるかどうか。民間事業者が観光資源として事業化し、雇用創出を促すと考えられるがどうか。

答

現在、史跡巡りツアー等が好評を得ている。まず、これらの事業の充実・継続を最重点に取組んでいく考えでいる。現段階では、資料化・デジタル化は考えていない。



丹沢湖ハーフマラソン大会は、地元も儲かるしくみづくりに取組む必要があると考える。参加者の確保は喫緊の課題だ。



町の歴史・文化は、町民にとっては、あたり前のように思えても、都市部の住民には素晴らしいお宝、有効に活用すべき資産である。

「6月実施の森林セラピーのひとコマ」



問

森林セラピーなどの事業は、事業協定を結び、民間事業者の参入が出来るよう促すべきでは。

答

森林セラピーは民間事業者が、本町内において目的に沿った事業を展開することは拒まない。自由に参画し町の魅力を発信していただきたい。

問 山北町の鳥獣被害対策について問う



井上正文 議員

答 県、町、地域で認識の違いがあるが、諦めないで一つ一つ取り組む

昨年、シカやイノシシ1000頭を超える捕獲実績をつくった。この取組はいずれ評価されると思うが、実際農家の現場では、特に被害が少なくなつて「これで安心」という実感がない。現在、農林業の現場で起きている鳥獣被害について県、町、地域が同じ方向を向かなければ解決できない問題について質問する。

問 共和地区の植林では、広葉樹の他スギ・ヒノキの芽も食われ、ほぼ全滅である。第5次総合計画では植林事業について触れられてない。農業と同様、林業もいずれ山北町の重要な課題になる。町の考えは。

答 植林事業は、町の総合計画にも重要と位置付けている。県との連携による鳥獣被害対策については、シカの捕獲など、モデル事業実施に向け取り組んでいく。



小花粉ヒノキのシカの角こすり



小花粉ヒノキ（花粉の飛散が少ない）の植樹

県の対応に疑問

問 鳥獣被害対策は、地域、町、県だけでできるといふ段階ではない。この辺の認識は。

答 例えば、ヤマビルやマダニも早いうちに手を打たなければ

ばいけないと考えている。今後とも県や地域などと連携して取り組んでいく。

問 産業まつりで、天ぷらソバの天ぷらを『その場で揚げるのがダメ』は、行き過ぎではないのか。

答 許可を出している保健所と調整して取り組んでいく。

問 かながわ鳥獣被害対策支援センターと相談して三保、清水のサルを激減できないのか。

答 丹沢湖群が33頭に増えた為、群れの適正規模の捕獲ができるように県に要望している。

問 シカの生息地域について、町内の一部を「定着防止区域」に格上げしたらどうか。

答 このような意見がある事を県に伝える。

議員 研修会

上郡議会議員研修会

平成30年2月14日（水）

「質問力で作る政策議会」

龍谷大学教授

土山 希美枝 先生

於 大井町役場3階会議室

研修テーマは、「一般質問の意義」

「一般質問のテクニック」を色々な角度から詳細に学べる絶好の機会となりました。

より良い一般質問を構築するには、その論拠になる多くの住民からの十分な意見の収集、町の政策・制度に対する争点整理、議員間連携など、多くの指摘事項について議論する場を作り、議員の質の向上と住民からの信頼に応えなければなりません。



「政策議会の資源」の発掘として、

ワークショップなど対話型の議会報告会の提案がありました。まさに、今描いている議会報告会の形であり、町民の思いや課題などをしっかり受け止め、今後の議会、委員会活動に活かし、政策提案につなげていきたいと感じました。

議員 交流会

道志村議員との交流会

平成30年3月29日（木）

「道志（同志）と繋がる希望の道」

於 道志村 山荘「水之元」

山北町と道志村は南北に隣接する町村で、かつては農林業振興など、家族ぐるみの付き合いも深い関係でした。

当日の第一部は、山北町西丹沢から白石峠へ加入道山を経由し、道志村へ抜ける縦走登山。快晴の空の下、山北町議員6名、道志村議員から佐藤副議長始め、3名の議員と同行し、約6時間の行程を歩きました。

途中、川を横断する木製の橋や、急な岩場を鎖で渡るルートなど、足のすくむ箇所もありましたが、山あいから望む庄巻の白石の滝や加入道山から眺める町村境の景色は絶景でした。



この階段を登りきれば白石峠（県境）加入道山山頂までは、そこから30分

第二部は、登山に参加できなかった両町村の議員全員による、意見交換会を実施し、将来のあるべき姿や住民の幸せを願い、固い結束が生まれました。今後もこのような議員間連携を継続し、次世代に繋いでいきたいと思っています。

活きいきひろば

岸・夢一座（縁側でぽかぽかタイム）

代表 稲 壽美さん



「岸・夢一座」は認知症予防教室のお手伝いとして体操・ゲーム・脳トレなどでお年寄りの方々と交流するボランティア活動グループ「縁側でぽかぽかタイム」から誕生した劇団です。

誕生のきっかけは、ボランティア活動の中で上演した劇が好評で「劇団化してはどうか」という多くのお声をいただいたことでした。

現在、劇団メンバーは12名、演目・脚本から小道具・衣装にいたるまで、すべて自作しています。

準備から本番まで、お年寄りもいっしょに「みんな楽しく」をモットーに活動しています。



楽しい演技で心がぽかぽか

議会の傍聴においでください

第2回定例会(予定)

6月4日(月)～

庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 75-3653

議会ホームページ

山北町ホームページ

→ 行政情報 → 町議会



議会報告会・意見交換会へ

多数のご参加ありがとうございました



みなさまから頂いたご意見、ご提案は今後の議会活動に活かしていまいります。

編集後記

若葉が目まぶしい今日このごろ、木々の風薫る五月がやってまいりました。

例年になく超満開の桜も散り、新緑の季節となりました。

さて、議会も当初予算の審査・可決を含めた三月定例会、そして四月開催の議会報告会&車座集会が終わりました。就任から三年が過ぎ、残すところ一年を切ったところです。我々広報分科会は、議会の見える化への取り組みとして、ホームページの更なる活用について取り組んでおります。

今年度町では、SNSの活用とホームページのリニューアルに取り組みます。議会も話し合いに加わり、より住民の皆様にとつて、みやすく、わかりやすいメディアとなるよう、「山北町議会だより」の刷新共々取り組んでまいります。

今後ともよろしくお願いいたします

(藤原 浩)



広報分科会

会長 藤原 浩

副会長 熊澤 友子

委員 井上 正文

児玉 洋一

瀬戸 恵津子

庄野 京子